

# 会社を守る一手『ジギョケイのすすめ』

## ■「ジギョケイ」とは？

正式には、事業継続力強化計画のことで、自らに降りかかるかも知れない災害を認識し、万が一災害が起きても事業を止めないために備えるための計画です。計画に基づき対策を実施している事業者の復旧に要する日数が13日程度であるのに対し、対策を実施していない事業者の日数は41日程度と約3倍の開きがあるともいわれています。

令和7年3月、当所の事業継続力強化支援計画（第2期）が山口県から認定を受け、同年6月には「BCPセミナー」を実施し、11月以降計画に基づき、小規模事業者自身の「事業継続力強化計画」の作成を3件支援しました。そのうちの1社である株式会社金子工務店の金子敦子社長にお話を伺いました。

## ■ジギョケイ策定事例

株式会社金子工務店は、山口市嘉川で1986年に設立し、主に一般住宅の新築・リフォームを担っており、3名の従業員と、事業に関わる20社の協力会社とともに、山口市周辺のお客様に伝統構法と質にこだわった仕事をしています。

仕事柄、「耐震補強」というキーワードには関わりが強く、セミナー講師としてお話をさせていただくこともありました。お客様が建築施工される際には耐震性能に留意した提案をしていますが、いざ自社の事務所のことになる、まだ耐震補強ができていない後回しの状態でした。

そのような中、昨年山口商工会議所で開催された「BCPセミナー」に何気なく参加したことが、「事業継続力強化計画」を作成するきっかけとなりました。このセミナーを受講した際、災害のひとつであるサイバー攻撃の現状について講話いただき衝撃を受けました。市販ソフトの「ウィルスバスター」くらいで問題ないと思っていたところ、その程度では何の役にも立たない



小屋裏の調査と耐震補強



代表取締役の金子敦子氏

### 株式会社金子工務店

代表者：金子 敦子

所在地：山口市嘉川4383-1

T E L：083-989-2081

事業内容：建築業



@KANeko\_KOUMUTEN\_

ことを知り、受講後すぐにセキュリティシステムの『ファイアーウォール』を導入しました。

商工会議所の制度で、「事業継続力強化計画」を無料で作成できるとの提案があり、計画策定に精通されている東京海上日動火災保険株式会社の代理店である株式会社東京海上日動パートナーズ中国四国山口支店の方に訪問していただき、計画作成を進めました。作成中のやり取りで一番印象に残ったことは、改めて考えると当たり前のことを再度気付かせてもらったということです。例えば震度6弱の地震が発生した場合、事務所内での避難通路の確保を第一に考え、什器・資材が倒れないようにすること、落ち着いたら顧客に連絡を取り、訪ねるためのエリア毎に名簿を整理すること、建築工事がストップしてしまったら、引き渡しまでの費用や従業員の給与などの補償等、いざとなったら銀行はいくらまで貸してもらえるのか、などです。あとは復旧に向けて自社だけではできないことが多いので、協力事業者さんとの連携について平時の際に話し合っておくことも必要だなと思いました。

計画策定を終えて、まずは簡単にできることからでも進めていきたいと思っています。

事業者の業種・規模問わず、災害はある日突然やってきます。それは明日起きるかもしれません。きっかけは様々ですが、梅雨の時季の前にジギョケイの作成に取り組んでみませんか？お問い合わせはこちらまで。

山口商工会議所 経営支援課 083-925-2300